

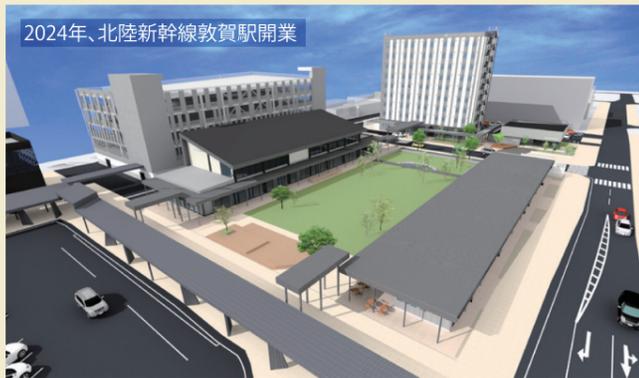


敦賀駅西に新コミュニティスポット、「otta(オッタ)」が誕生。

TSURUGA POLT SQUARE「otta」は、広場公園を中心に「泊」・「食」・「知」・「憩」の各施設が回遊キャンपी(のさし)で繋がり、一体となった賑わい創出の拠点です。



2024年、北陸新幹線敦賀駅開業



**泊** ワンランク上の宿泊拠点

海外からの長期滞在宿泊客、また、国内外のVIPへも対応できるワンランク上のホテル「ホテルグランビナリオTSURUGA」。ビジネスタイプのシングルルームからエグゼクティブ対応のジュニアスイートまで、ニーズに合わせた豊富な客室バリエーションを用意しました。シングルルームにもワイドベッドを設置し、広々とした客室空間を確保しています。

**食** 賑わいを生み出す「食」を発信

敦賀駅西口で、地域の新しいコミュニティや賑わいを生み出す「食」の発信拠点。地元の特産物や海外グルメなどバラエティーに富んだ小型飲食店舗が長屋風に配置され、駅利用者や周辺住民の活発な交流の場となります。また、広くて大きなキャンピーの下、開放感溢れる屋外テーブル席で楽しめるのも魅力です。さらに、地元の名産品、お土産などの販売を行う物販店舗も併設されます。

**知** 本を通じて世界がひろがる「知」の拠点

3万冊を超える書棚空間を持つ「TSURUGA BOOKS & COMMONS ちえなみき」は、本を通じて「知」と触れ合い、人と人のつながりを深めていくことを目指して敦賀市が整備する知の拠点施設です。書店では、本を購入、閲覧でき、ワークスペースやカフェ「中道源蔵茶舗」も併設され、くつろぎと憩いの場を楽しむことができます。(指定管理者:丸善雄松堂・編集工学研究所共同企業体)

**憩** 市民の憩いと交流の「敦賀駅西広場公園」

敦賀市が整備する「敦賀駅西広場公園」はottaの中心に位置し、各種イベントの開催など賑わいの創出にも活用できるよう来訪者のみならず、市民の憩いや交流の場として開放されます。

※パース画は全てイメージです



HOTEL GRANBINARIO TSURUGA



# 「敦賀、歴史と食の旅」

編集：ホテルグランビナリオ TSURUGA

# 敦賀

## ホテルグランビナリオ TSURUGA 2022年9月、グランドOPEN。

ハイクラス仕様の余裕ある客室は  
充実の快適設備を整え、全8タイプ。

ビジネスタイプからレディス向け、カジュアルなジャパニーズスタイルからエグゼクティブのご宿泊にも対応できるジュニアスイートルームまで、8タイプ・全131室のシンプル＆モダン設計の客室をご用意。広々とした客室、ワイドサイズの最高級ベッドを設置し、ライティングデスクやWi-Fi、空気清浄機も全室標準完備をしています。また、オートフロントシステムによるスマートチェックイン機を導入し、お客様との接触機会を最小限に抑え、感染対策等にも配慮しております。



ゲストルーム：グラン・エグゼクティブ(イメージ)



ホテルグランビナリオ TSURUGA

〒914-0055 福井県敦賀市鉄輪町1丁目3番46号  
FAX.0770-22-5561

TEL.0770-22-5560

<https://hotelgranbinario-tsuruga.com/>



協力 | 敦賀市 | 〒914-8501 福井県敦賀市中央町2丁目1番1号  
FAX. 0770-21-1111 (代)

# 敦賀、悠久の浪漫。

## 古代の敦賀

大陸の先進文化が敦賀を經由して大和へ。  
古代、敦賀は異国に開かれた日本の玄関口であった。  
渤海国から日本海を越えて訪れる異人を迎える、  
その厚いもてなしの心が幾千年を経た今も息づいている。

### 敦賀の面影(氣比神宮)

氣比神宮は、伊奢沙別命(いざさわけのみこと)を主祭神とし、仲哀(ちゅうあい)天皇・神功(じんぐう)皇后・日本武尊(やまとたけるのみこと)・応神(おうじん)天皇・玉妃命(たまひめのみこと)・武内宿禰命(たけのうちの・すくねのみこと)の七神を祀っています。文献上では氣比神宮は、海陸の要害であった敦賀の鎮護神として仰がれ、神功皇后が武内宿禰に命じて菅田別命(ほんだわけのみこと)(応神天皇のこと)とともに、氣比(筍飯)大神を参拝させた話が『日本書紀』にあります。また、『古事記』にも主神の伊奢沙別命を御食津(みけつ)大神と名付けたとあり、食物の神となっていたことが知られています。境内摂社の角鹿(つぬが)神社は任那(みまな)の王子・都怒我阿羅斯等(つぬがあらしと)命をまつっています。現在の敦賀のもととなった地名「角鹿」は、この都怒我阿羅斯等(「意富加羅(おほから)国(朝鮮半島)の王子)が越国(こしのくに)の筍飯(けい)浦に到着したときに、額に角があったので、この地を角鹿と称したと『日本書紀』に記されています。



氣比神宮



角鹿神社



神功皇后  
[名高百勇伝] 歌川国芳 画

氣比神宮寺：  
神宮寺は、日本固有の神祇信仰と外来の仏教信仰が融合しない混交した神仏習合の思想にもとづいています。氣比神宮寺は715年(靈龜1)に藤原武智麻呂(ふじわらの・むちまろ)によって建立されたとされています。

角鹿会：  
氣比神宮寺に由来する6ヶ寺が結集し、寺文化の発信と中心市街地の活性化に取り組む団体



### 古代日本の玄関口(松原客館)

古代の敦賀に大陸からの使節を迎接する施設として「松原客館」が存在した記録が残っています。主に日本海対岸の渤海国からの使節を迎えたと考えられます。

#### 【松原客館推定地】



氣比の松原

別宮神社

来迎寺

西福寺

渤海国は、朝鮮半島東北部から中国東北方東南部にかけて作られた国で、渤海国と日本を直につないだのは日本海の中央を横断する一筋の“海の道”であり、敦賀は、古代より日本海側のゲートウェイ(玄関)でした。

渤海使の船は帆船で、主に海流と季節風が航路を決めたが、その到着地は、出羽、北陸、山陰、九州など日本海沿いの広範囲にわたりました。北陸から北の場合は日本海沿いを南下し、敦賀、またはその付近を經由して都へ入っています。奈良時代来朝の11回の使節中、4回も越前に迎え入れたことが知られています。



渤海使航路

### 都を守る固関(愛発関)

敦賀津の発展に伴って、そこへ至る陸上交通も盛んになり、敦賀には古代三関(さんげん)の一つである固関(こげん)、「愛発関(あらちのせき)」が設けられました。

三関には他に伊勢の鈴鹿関(すずかのせき)、美濃の不破関(ふわのせき)があり、これらは多くの関の中でも特に重視されました。



敦賀市足田付近(愛発関の有力候補地)

#### 固関(こげん)：

古代、国家の重大事に際し、勅使(固関使)を出して諸国の関所を警固させたことをいいます。特に天皇の譲位、崩御、そのほか内乱に際しては、伊勢国鈴鹿、美濃国不破、越前国愛発(あらち。のち近江国逢坂(おうさか))の三関の警備を厳重にしました。



愛発関はどこにあったか確定できていない



固関を設け関所を警固



藤原仲麻呂の乱  
月岡芳年 画



藤原仲麻呂の乱(764年)

弓の名手、坂上田麻呂が藤原仲麻呂(恵美押勝)の乱にて仲麻呂の子、訓備麻呂を射ようとする場面

# 中世・戦国期の敦賀

金ヶ崎城は幾度も戦乱の舞台となった地。滅ばされた南朝の、太平記に記された幻の北陸朝廷。織田信長軍と朝倉・浅井軍との攻防戦。金ヶ崎を駆ける戦国武将が抱いた夢を潮騒がそっと囁く。

## 多様な歴史(金ヶ崎の由来)

誓法山金前寺(せいほうざん・こんぜんじ)は、天平8年(736年、奈良時代)45代聖武天皇の霊夢により勅を奉じた泰澄大師(たいちょうだいし)が十一面観音の坐像を本尊として寺を建て、天皇親筆による金光明経を賜り、その経を金櫃に封じて陵丘に埋めさせました。それによりこの山を金ヶ崎(かねがさき)と名付け、寺名を金前寺と号しました。



## 幻の北陸朝廷(南北朝編) (天筒山城跡・金ヶ崎城跡)

建武政権が成立して間もなく、公家を重んじた後醍醐天皇(南朝)と、幕府を開き武家政治を行おうとする足利尊氏(北朝)との対立が深まり、延元元年(1336)の湊川の合戦で天皇方は大敗し、楠木正成は戦死。後醍醐天皇は新田義貞らとともに比叡山に籠もり、戦闘を続けるも、尊氏が光明天皇を擁立したことで、両朝が対峙することになりました。

ほとんど後醍醐天皇と尊氏との間で和睦となり、天皇は京都へ帰ることになりましたが、その直前に、義貞は皇太子であった恒良(つねなが)親王を奉じて北陸へ下り、敦賀の金ヶ崎城に入りました。(延元元年・10月)この時、気比社大宮司・気比氏治(けひ・うじはる)が700騎を従えて一行を出迎えたと言われています。『太平記』

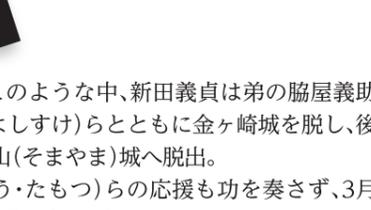
『太平記』では、恒良親王が比叡山を下り北国に去ろうとした時、後醍醐天皇は、天皇の位を恒良親王へ譲ったと伝えています。これが史実とすれば、敦賀に入ったのは、皇太子・恒良親王ではなく天皇であったということであり、敦賀は朝廷の置かれた都ということになります。この事を傍証する資料がいくつか存在します。「敦賀に『臨幸』した」とする文書も残り、また、「白鹿(はくろく)」という珍しい年号が使われた形跡もあります。

幻の白鹿王朝です。



## 幻の北陸朝廷(南北朝編)

金ヶ崎城を拠点とした南朝方に対し、足利勢は大軍をもって攻めました。敦賀湾に突き出た海拔86mの丘岬に築かれた金ヶ崎城は、三方が断崖という理想的な要塞ではあったものの、年が明ける(1337年)と、足利軍は高師泰(こうの・もろやす)を総大将とした大軍をもって、陸海より攻撃を開始。しゃにむに寄せる軍兵の波に、金ヶ崎城はすっかり包囲されてしまう。



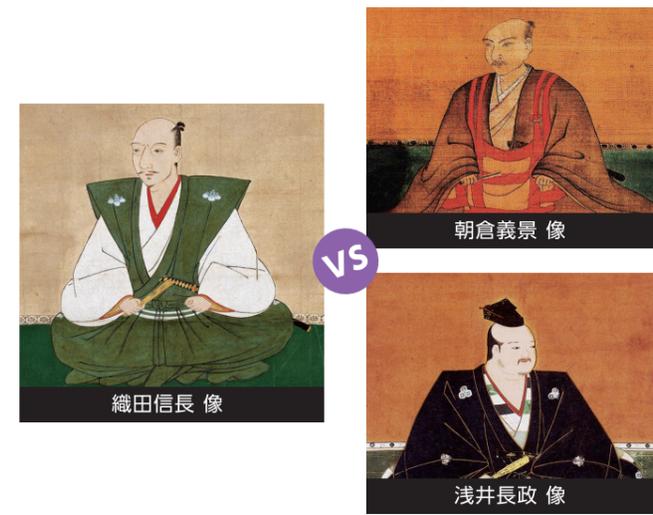
このような中、新田義貞は弟の脇屋義助(わきや・よしすけ)らとともに金ヶ崎城を脱し、後方攪乱を計って杣山(そまやま)城へ脱出。杣山城主・瓜生保(うりゅう・たもつ)らの応援も功を奏さず、3月6日に金ヶ崎城は敵の総攻撃にあい、さしもの要塞もわずか一日で陥落しました。籠城していた新田義貞(にしたのよしかぎ)の嫡子、尊良(たかなが)親王、気比氏治ら300余名が自決して果てました。



尊良、恒良両親王以下の将士が、金ヶ崎に入って間もなくの延元元年(1336)10月20日、管絃の船を敦賀湾内に浮かべて、紅葉を愛で月を賞しました。この故事については、今も「御船遊管絃祭(おふなあそびかんげんさい)」として、毎年同日に行われています。

## 天下統一(信長編)(天筒山城跡・金ヶ崎城跡)

元亀元年(1570)4月、織田信長は三万の軍勢にて京都を発ち、西近江道を北へ進み九里半街道を通り若狭に入り、佐柿(福井県美浜町)に着陣して攻撃を開始しました。このとき、金ヶ崎城には3000騎の朝倉勢が、また天筒山城には気比社の社家など1500騎が立て籠もっていました。しかし、信長軍は本隊3万人に加え、家臣の柴田勝家・丹羽長秀、さらに徳川家康らの軍勢を合わせると10万人を超えており、一兩日中に両城は落ちました。信長は朝倉義景の本拠地一乗谷を一気に攻める勢いでしたが、信長の妹婿であり近江の小谷城主であった浅井長政の叛旗による挟み撃ちという危機が生じました。結局、撤退を余儀なくされ、京都に帰り着く羽目となりました。



この撤退時、金ヶ崎にて殿を務めたのが木下(のちに豊臣)秀吉でした。秀吉が無事、殿を務めたため、後に「金ヶ崎の退(の)き口」などと言われています。秀吉にとっては出世の糸口となりました。



## 天下統一(秀吉編)(天筒山城跡・金ヶ崎城跡)

柴田勝家・丹羽長秀という織田信長の有力武将による越前・若狭の支配は、天正10年(1582)に、信長が明智光秀に討たれた本能寺の変の後もしばらく続きました。変の翌年、羽柴(のちに豊臣)秀吉は賤ヶ岳の合戦にて勝家を破り、次いでその居城・北庄城(きたのしょうじょう)を攻め落としました。戦後、長秀に越前の大半を与え、敦賀郡を蜂屋頼隆(はちや・よりたか)に与えました。その後、頼隆は天正17年、九州の参陣先で没し、嗣子がなかったために家は断絶。頼隆の後に敦賀城主となったのが大谷吉継(石田三成・浅野長政ら豊臣五奉行と並ぶ地位にあった奉行衆)でした。吉継の所領高は5万7千石で、所領は敦賀郡を中心に今立・南条両郡にありました。



## 【大谷吉継ゆかりの地】



# 近世の敦賀

奥の細道に名月を愛でた俳句を残す芭蕉の感嘆。  
幕末には水戸天狗党の降伏の地となった。  
北前船の一大寄港地として栄えた江戸時代から明治中期。  
蝦夷から瀬戸内へ、北も南も、その中央に敦賀がある。

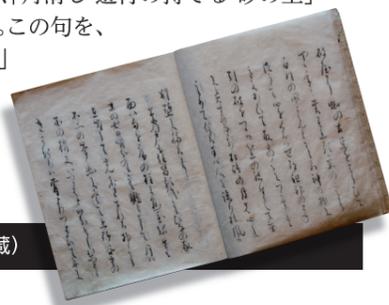
## 百代の过客(松尾芭蕉)

芭蕉が奥の細道の旅で、福井の隠士・等栽(とうさい)に歌枕や史跡を案内させて敦賀に入ったのは、元禄2年(1689)8月14日の夕刻でした。



松尾芭蕉像(氣比神宮)

芭蕉は仲秋の名月を見るために旅籠出雲屋(敦賀市相生町)に宿をとり、宿の主人に「明日も晴れるでしょうか」と聞いたところ、主人は「北陸の天気は変わりやすい。明日はわかりません。今夜のうちに参りませんか」と答えたという。芭蕉はそれならばと夜参りに出かけて月見を堪能し、「月清し 遊行の持てる 砂の上」という句を残したとのこと。この句を、「名月や 北国日和 定めなき」とともに、奥の細道に収めて、いまも多くの人に読まれています。



奥の細道素龍清書本(個人蔵)

## 【松尾芭蕉ゆかりの地】



氣比神宮



金前寺



氣比の松原



色ヶ浜

## 北国の都(北前船)

近世敦賀町の完成期である寛文年間はこの町の絶頂期であり、寛文3年(1663)の町数のはちの36町とほとんど同じで、戸数は2903軒、人口は15,101人を数えました。井原西鶴が元禄元年(1688)に出した『日本永代蔵』では寛文期の敦賀町の殷賑ぶりを「北国の都ぞかし」と描写しています。



金ヶ崎帰帆「敦賀風景八ツ乃詠」より(敦賀市立博物館所蔵)



打它宗貞肖像画(個人蔵)

北前船:  
江戸時代中頃から明治時代中頃まで、上方や瀬戸内方面において日本海沿岸方面からやってくる廻船に対する呼び名とされ、下関経由で蝦夷地と大坂間を結び、経済・文化両面で日本海沿岸各地に大きな足跡を残しました。



洲崎の高燈籠



旧大和田銀行本店社屋



北前船の航路



昆布の手すき加工技術

## 維新回天(天狗党:武田耕雲齋等墓)

幕末、ペリーが浦賀に来航して以来、国内では攘夷論が台頭しました。水戸藩では、安政6年(1859)の朝廷から水戸藩へ下された密勅の取り扱い問題、翌年3月の大老・井伊直弼の江戸城桜田門外での暗殺、前藩主・徳川斉昭の死去などもあって、尊攘派の天狗党と門閥保守派の諸生党とが激しく対立を続けていました。



武田耕雲齋等墓

文久3年(1863)の8月18日の政変で、長州藩を中心とする尊皇攘夷運動が敗北すると、長州藩尊攘派志士とかねてより関係のあった天狗党の藤田小四郎らは幕府に攘夷を迫るため、翌元治元年(1864)3月27日、常陸国・筑波山に挙兵。幕府軍と戦い対峙するも、藩内では諸生党も追討に加わり、私闘内紛と化しました。天狗党は水戸に入るも、諸生党に入城を拒まれ、那珂(なか)湊にて幕藩連合軍と激戦、形勢は次第に不利となりました。

同年10月、天狗党は武田耕雲齋を総大将として、常陸国大子(だいご)村に集結。陣容を立て直し、11月1日約千人の軍勢が京都を目指し、西上を開始しましたが、敦賀で降伏しました。



水戸烈士記念館(旧鯉蔵) 移築中:令和5年3月31日まで



水戸天狗党行軍略図

# 近代の敦賀

明治期に日本海側で唯一、東京・神戸とつながったまち。ウラジオストク直行船に連結した欧亜連絡国際列車。命のビザで知られる杉原千畝により救われた、ユダヤ人難民が温かく迎えられたのもこの敦賀だった。

## 近代日本の幕開け(鉄道開通)

明治5年(1872)9月、新橋ー横浜間に日本で初めて鉄道が開通するが、鉄道敷設事業は既に明治2年の段階で東京ー京都間、京都ー神戸間とともに、敦賀から琵琶湖周辺までが計画されていました。

明治15年(1882)3月10日、長浜ー敦賀間のうち未完成の柳ヶ瀬トンネル部分を除き、長浜ー柳ヶ瀬間と柳ヶ瀬トンネル西口の洞道口(どうどうぐち)ー金ヶ崎間が開業。柳ヶ瀬駅と洞道口駅の間は、トンネルが開通するまで徒歩連結によって接続されました。



柳ヶ瀬トンネル



伊藤博文揮毫「萬世永頼」

柳ヶ瀬トンネルは、当時の日本の技術力を駆使し、国内最長の1352mの全長を持つ鉄道トンネル工事計画でしたが、4年の歳月を要する難工事の末、完成したのは明治17年4月となりました。このトンネルには伊藤博文が揮毫した「萬世永頼」の石額が掲げられ、政府の並々ならぬ意気込みを感じることができます。ここに、長浜駅ー金ヶ崎駅間の42.5kmが全通し、その所要時間は2時間36分でした。

一方、幹線である東海道線は明治22年(1889)開通。このとき、敦賀ー長浜間は米原まで延長され、東海道線に接続することによって敦賀は日本海側では東京・神戸とつながる唯一のまちとなったのです。



眼鏡橋



旧敦賀港駅ランプ小屋



明治後期頃の敦賀港



大正期頃の敦賀港



昭和初期頃の敦賀港

## 東洋と西洋の出会い(欧亜連絡国際列車)

敦賀港は明治40年(1907)、横浜・神戸・関門(下関・門司)とともに国営の四港に選定され、本州日本海側唯一の第一種重要港湾に指定されました。



欧亜連絡路概略図

この後、明治45年6月、新橋ー金ヶ崎間を直通で結ぶ寝台付き欧亜連絡国際列車が運行を開始。この列車はウラジオストク直行船に連結し、ウラジオストクからシベリア鉄道によってヨーロッパに通じる文字通り欧州とアジアを結ぶ国際連絡便となりました。それまでのインド洋・地中海を経由した欧亜航路が一月もかかってロンドンやパリに着いたのに対して、シベリア鉄道の開通もあって半月も短縮され、ヨーロッパへの最短行路として脚光を浴びる存在となりました。

欧亜国際連絡列車切符(個人蔵)



金ヶ崎棧橋(福井県立歴史博物館蔵)



欧亜国際連絡列車寝台車



日滿連絡船出の景

### ブルーノ・タウト:

欧亜連絡国際列車に乗り、ヨーロッパの著名人たちが日本を訪れました。例えばヒトラー内閣成立の直前、国外亡命を余儀なくされたタウトはベルリンを脱出。まずは日本に行くことを決め、約3年間日本に滞在しました。来日当時のタウトは、すでに著名な建築家として知られ、また都市計画の世界的権威でもありました。



ブルーノ・タウト



彼は、伊勢神宮や民家など日本古来の建築を好意的に評価し、とりわけ桂離宮を「現代における最大の世界的奇蹟」などと絶賛したことにより、日本人がタウトに対して親愛感を抱く要因になっていることはよく知られるところです。タウトはシベリア鉄道でウラジオストクに着き海路で敦賀に上陸。乗船した天草丸船員の端正な働きぶり、港の旅館(熊谷ホテル)の簡素さ、女中の給仕ぶりなどに対してきめ細かな観察をしています。(その様子については、ブルーノ・タウト著「ニッポン」敦賀の章を参照)



天草丸「ふるさと敦賀の回想より」



敦賀港に上陸した外国人観光客「ふるさと敦賀の回想より」

## 人道の港・敦賀

昭和14年(1939)9月、ドイツ軍に続いてソ連軍に侵攻されたポーランドのユダヤ人たちは、リトアニアに逃れ、ここからソ連を横断、日本を経由して安住の地を目指しました。日本の通過ビザの発給を求めてユダヤ人難民が日本領事館に殺到しましたが、日本外務省からの回答は「ビザ発給はならぬ」でした。しかし、翌15年7月、当時の領事代理・杉原千畝は苦渋の決断の末、いわゆる「命のビザ」の発給に踏み切りました。そしてユダヤ人難民はシベリア鉄道でウラジオストクまで行き、海路敦賀港に向かいました。敦賀で温かく迎え入れられ、4千人以上が救われたというこの史実は、1920年代にシベリアから救出され、敦賀に上陸したポーランド孤児を受け入れた歴史とともに、「人道の港・敦賀」として語り継がれるようになりました。



人道の港 敦賀ムゼウム 夜景



ユダヤ難民が残した時計



大迫辰雄氏のアルバム



ユダヤ難民



# 敦賀、食の旅路。

## 敦賀食文化事始め

古事記には、敦賀湾で獲れるイルカの神話や、日本を代表するブランド、敦賀の蟹(越前がに)の歌も。天然の漁場を活かし現代は真鯛やふぐの養殖が盛んに。海の幸を舌先へ運ぶ筈、その口福感を愉しんでみる。

魚介の宝庫、日本海につながる敦賀湾。  
神話の時代より北前船の江戸・明治期もずっと、  
近場の漁場はもちろん遠く蝦夷地からも  
豊かな海産物が集積し人々の食膳を賑わせてきた。  
この地を訪ねて味わってこそ実感できる。  
本物の「食する喜び」がここにある。

### 古代：海の幸編

【『古事記』(中巻)より】

[御子が、角鹿(つぬが)に作った宮に籠もっていると]その地(くに)に坐すイザサワケ(伊奢沙和気)の大神が夜の夢に現れ、「わが名をそなたの名に替えようと思う」と仰せになった。それを聞いた御子は喜び、言葉に心をこめて「恐れ多いことです。お言葉のままに替えさせていただきます」と答えた。するとまたその神は、「明るく日の夜明けに、浜に出でよ。名を替えた祝いの品を差し上げよう」と仰せになったので、夜が明けてすぐに浜に出てみると、鼻の先を傷つけたたくさんのイルカ(入鹿魚)が一つの浦の、端から端まで満ち溢れていた。

そこで御子はすぐさま使いを神の宮に遣わし、「私に、神は御食(みけ)の魚(な)を下さいました」と申し上げた。爾来、敦賀は御食国となったのです。



越前がに(調理例)

「この蟹や 何処(いづく)の蟹 百伝(ももづた)ふ 角鹿の蟹」  
(訳:この蟹はどこからきた蟹 ずっとむこうの 敦賀の蟹):  
『古事記』応神天皇段に登場するこの歌は、15代応神天皇が宴会に供された蟹について詠った一文。角鹿、つまり敦賀の蟹と言えば、いまでは「越前がに」というブランド品です。



海鮮丼(味世司)

【補足：敦賀真鯛・敦賀ふぐ編】

天然の良港である敦賀湾では、昭和50年頃\*から、養殖真鯛の最北端として、盛んに養殖が行われてきました。入り江の多いリアス式海岸が日本海の荒波を軽減し、また、湾を取り囲む三方の山々から流れ込む雪解け水はミネラルや微生物を豊富に含み、真鯛にとって質のいい栄養分を与えてくれます。まさに、敦賀湾は地の利を活かした養殖場なのです。



敦賀真鯛



調理例



敦賀ふぐ



調理例

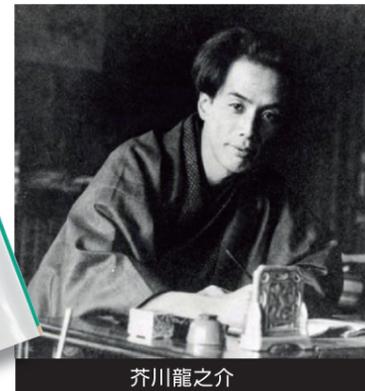
\*とらふぐの養殖の歴史は、昭和60年代から。

### 中世：芋粥編

【『芋粥』(芥川龍之介作)】

「五位(律令制の位階の第5番目:本作の主人公)は、五、六年前から芋粥(いもがゆ)という物に、異常な執着を持っている。芋粥とは山の芋を中に切込んで、それを甘葛(あますら)の汁で煮た、粥の事をいうのである。当時(平安時代のこと)はこれが、無上の佳味として、上は万乗の君(ばんじょうのきみ:天皇のこと)の食膳にさえ、上せられた。従って、我(わが)五位の如き人間の口へは、年に一度、臨時の客の折にしか、はいらない。その時でさえ飲めるのは、僅に喉を沾(うるお)すに足るほどの少量である。そこで芋粥を飽きるほど飲んで見たいという事が、久しい前から、彼の唯一の欲望になっていた。」(引用)

こうして、五位が、藤原利人(としひと)(敦賀の人、藤原有仁(ありひと)の女婿)に連れられてきたのが、敦賀である。



芥川龍之介

「芋粥」については、  
①『今昔物語』第二六第一七  
「利人將軍の若き時、京より敦賀に五位を將(い)て行きたる語」  
②『宇治拾遺物語』一八  
「利人芋粥の事」  
に題材をとった作品です。



芋粥(そば処 孫兵衛)

小説の「芋粥」を再現してみると、現在のものとは違うイメージの食べ物に。

# 敦賀食文化事始め

北前船で運ばれた北海道の昆布やニシン。  
なかでも昆布は敦賀の地で加工されて全国津々浦々へ。  
茶も各地から集まり香り高い茶文化が伝統に。  
屋台が発祥の敦賀ラーメンに、今日もまた人々が集う。

## 近世：北前編

国内で流通する昆布の90%は北海道でとれます。昆布は北前船で西日本へ運ばれ、流通することにより、現在の和食の基礎になりました。福井県には北前船の寄港地であった敦賀などに、繁栄と食文化が持ち込まれました。  
なかでも北からもたらされたものとして昆布とニシンは別格で、そのニシンでつくった保存食が「にしんずし」です。  
ニシンのすしは、夏に仕込んで秋に食べ頃を迎え(食べ頃は時期によるが2週間から4週間)、敦賀祭はもちろん、冬場のたんぱく質が得られるごちそうとして、おせち料理としても出されるおめでたい料理のひとつです。



利尻や羅臼、礼文島など北海道でとれた昆布の高級品は、現在でも、敦賀の地に集結しています。敦賀の昆布問屋の中には15年連続で日本一高価な昆布を取り扱うところも。蔵の中で1~2年かけて熟成され、最上級のダシ昆布となり、京都や大阪などの一流料亭に卸されています。  
敦賀ではダシ昆布以外にも様々な加工されています。代表的なものとしては「おぼろ昆布」。職人が手作業で削り取る「手すきおぼろ昆布」は熟練した技術で生みだされています。  
地元ではおにぎりを巻いたり、お吸い物に使ったりと素材そのものを味わう食べ方が一般的。毎日の食事やお弁当から、一流料亭まで、歴史と伝統に育まれた敦賀昆布は、日本人の食文化を支えています。江戸時代後期の書物『日本山海名産図会』でも紹介されています。



## 近代：かつ丼編

【『明治洋食事始め』(岡田哲著)等】  
「庶民の間で牛鍋やすき焼きが定着した背景には、政府や知識人による積極的な肉食奨励策がありました。国民の体位を向上させ、食文化の近代化をはかるために、牛肉を食べさせようと宣伝がつづけられました。  
肉食を奨励したのは政府だけではありません。1872年(明治5)に、敦賀県(現在の福井県の一部)下での牛肉店の開店に際して、よくない噂が飛びかうと、敦賀県庁は、「牛肉は、健康の増進・活力の補強・強壯滋養によい食べ物である。今までの習慣にこだわって、牛肉を食べると心身がけがれると言いふらす不心得者がいる。これは文明開化の妨げであり、不届きである」とする異例の論告を出しました。」(引用)  
こうして明治になって、7世紀の後半、天武天皇により「殺生肉食禁止の詔」が發布されて以来、1200年に亘った禁が破れ、洋食(とんかつの誕生には、ここからおよそ半世紀の歳月が必要)が普及していくこととなりました。

### 【かつ丼起源説：関東大震災後、全国に普及】

- 1 1921年(大正10)に、早稲田高等学院の学生の中西敬二郎は、カツレツを米飯の上にのせる「かつ丼」を考案した説
- 2 1913年(大正2)に、同じ早稲田で高島増太郎(ヨーロッパ軒の創始者)が「ソースかつ丼」を売り出したのが始まりとする説
- 3 「ソースかつ丼」の考案者は、長野県の駒ヶ根の登山家であるとする説



### 【敦賀ヨーロッパ軒の歴史】

- 大正2年11月28日(1913年) 東京都早稲田鶴巻町(新宿区)にヨーロッパ軒誕生。屋号はヨーロッパで修行したことに由来。
- 大正12年9月 関東大震災により灰燼と化し郷里福井に帰る。
- 大正13年1月 総本店所在地片町通りに福井ヨーロッパ軒誕生。
- 昭和14年 敦賀分店をノレン分け第1号店として開店

## 現代：敦賀ラーメン編

【『ラーメンの誕生』(岡田哲著)等】  
「日本は、満州事変→日中戦争→第二次世界大戦と、15年間に及ぶ泥沼の軍国主義時代に突入しました。そして、1945年の終戦。悪夢のような苦しい戦争体験を経て、平和になり安堵したのも束の間、国全体が厳しい食糧難に陥りました。  
そして、アメリカからの食糧援助、国内の増産体制が回復してくると、復興の足音も徐々に高まっていきました。  
各地の中華街でも、戦後の復興とともに、華僑により、いち早く、中華そばが出回り始めました。戦後は、シナそばの呼称が、中華そばと変わり、資金的にも、そば屋ほどの費用がかからず、中華そば屋の屋台や仮店舗は手軽に用意することができました。  
さらに、大陸からの引揚者の帰国が相次ぎ、中国北部の餃子や麺料理が伝えられ、アツという間に、日本の各地に浸透し普及していきました。安くて、旨くて、栄養がある食べ物(ラーメン)に、私たち日本人は飢えていたのです。」(引用)  
1953年、敦賀に初めてのラーメン屋台が開店。その後屋台は増え、当時「中華そば」と呼ばれ多くの人に親しまれるようになりました。夜になるとチャルメラの音が響き渡り、23時を回ると屋台は敦賀駅前に集い、駅に降り立つ客や旧国鉄職員たちが食しました。  
1960年代後半からは中華料理店もでき、多くの人々がラーメンを食するようになりました。団体旅行ブームで深夜の観光バスや、また、市外からの乗降客が敦賀駅前の屋台に立ち寄りしました。そしてトラック運送全盛期のとき、国道沿いに屋台は移り、多いときには15台の屋台が立ち並ぶ「ラーメン街道」と呼ばれていました。



### 【敦賀ラーメン「中華そば 一カ」】

屋台から70余年の歴史を持つ敦賀ラーメンの先駆け。ミシュランガイド北陸2021にも掲載された折り紙付きの名店です。



## 【茶文化】

貝原益軒(1630-1714)の『続諸州めぐり』に「北国は寒きゆえ茶なし、畿内・近江・美濃・尾張より茶を多く持来て此地(敦賀)にてうり、北の国へつかはす、我国へ帰る時は、あきないもの多く買て行、茶町有て大なる商家多く其町長し、茶の間屋多し」とみえ、茶町(現在の敦賀市川崎町)の繁栄がうかがえます。  
元禄元年刊の井原西鶴(1642-1693)の『日本永代蔵』にも「茶の十徳も一度に皆」の一話があり、敦賀町の繁盛と茶商人七助の活躍が描かれています。  
時代とともに茶町は衰微し、街並や店舗形態は変化してきましたが、現在も日本茶の専門店として「中道源蔵茶舗」は茶文化の伝統を残しながら、香高く敦賀を彩っています。



## 【かたパン】

港町敦賀は日清戦争、日露戦争、第二次大戦と大陸へ武器や兵士を運ぶ兵站基地であり、この金山(かなやま:地名)には先の大戦でも連隊の基地が置かれていました。その部隊に徴収された人はなぜか伊賀出身の人が多くいました。伊賀と言えば「忍者」。忍者活動の中には、忍びに忍んで情報を集める時、持久戦になるケースもあり、そんなときのために、忍者は懐に手裏剣といっしょにかたパンを忍ばせていたといわれます。  
戦争に行くともなるとこの非常食が必要になる場合があります。その時のために伊賀の業者がわざわざ出張サービスとして敦賀連隊にかたパン販売に訪れたということです。この売れ行きを見て地元敦賀の人もかたパン業者になり、最盛期には十軒が軒を連ねました。



# 敦賀、ぐるめぐり。

## おすすめ! 人気グルメ&スポット

敦賀人のこだわりを映した名店をご紹介します。  
ここでしか味わえない食を求めて、ぶらぶら歩く。  
そんな心おどるようなひとときを。  
そこには、旅ならではの素敵な出逢いが待っている。

■記号について ヨコ軸 A I タテ軸 (17p-18p地図参照)

- 食事、レストラン
- Wi-Fi
- 駐車場
- カフェ、喫茶、軽食
- 禁煙
- クレジットカード可
- お土産、ギフト
- 喫煙可、スペース有
- モバイル決済可

**J 4 1 軽食 喫茶 PAIN**

美味しいご当地パスタ召し上がれ  
敦賀駅徒歩すぐあり、地元の人や旅行者でにぎわう店内には敦賀のお隣、美浜町(丹生酢房)のへしこを使ったお手軽和風スパゲッティが人気で、リピーター続出!! ちょっとした軽食からガッツリランチまで幅広く取り揃えているお店です。



オススメ <敦賀名産> へしこのパスタ(M) ¥950-

敦賀市白銀町1-15 ☎0770-24-0958  
 ☎ 09:00~21:00(LO)  
 ☎ 月曜日・第3.5日曜日  
 ☎ 食事800円~1,000円  
 ☎ ルームキー提示で1グループ10%OFF

**J 3 2 カフェ・シ・テール**

コーヒーでほっと一息どうですか?  
駅前商店街から少し路地に入った場所にあるレトロな雰囲気漂う喫茶店。マスターの入れたコーヒーはほっと一息入れば、店で焼きたてのカヌレは県外からのお客様がいるほどの美味しさ。他にも、ホットサンドやスパゲッティ等、懐かしいメニューが豊富にあり、何度も訪れたいくなるそんなお店です。



敦賀市白銀町10-8 ☎0770-25-7473  
 ☎ 9:30~19:00  
 ☎ 月曜日  
 ☎ 珈琲440円~  
 ☎ 本誌持参で10%OFF

**J 3 3 中道源蔵茶舗(神楽本店)**

日本茶を通してお茶を嗜むことで感じる日々の潤いをお伝えしていきます。  
江戸時代から運送業に携わり、戦後からは日本茶専門店【お茶の清香園】。2018年に喫茶を併用したお茶屋【中道源蔵茶舗】としてリニューアル! 店内では50種類のお茶を販売し、喫茶コーナーではお茶や、お茶を利用したデザートなど頂くことができます。



敦賀市神楽町1-1-8 ☎0770-22-4507  
 ☎ 10:00~18:00  
 ☎ 月曜日  
 ☎ <https://nakamichi-genzo.com/>  
 ☎ 珈琲500円~1,100円  
 ☎ 本誌持参で500円以上お買い上げで珈琲パック2Pプレゼント

**H 3 4 coto**

自家焙煎珈琲のお店  
通りから一本入った住宅地にあるカフェと雑貨のお店。日々の暮らしの隅をちょっと素敵にしてくれる雑貨を見ながらこだわりの豆を使用し、昔懐かしいサイフォンで入れた珈琲は格別においしく、見ているだけでも楽しいお店です。



敦賀市呉竹町1-2-8 ☎0770-47-6689  
 ☎ 10:00~19:00 ☎ 木曜日・第2水曜日  
 ☎ <https://coto.work/>  
 ☎ 450円~1,200円  
 ☎ 本誌持参で3,500円以上お買い上げで珈琲パック2Pプレゼント

**J 4 5 カメレオン食堂**

駅前だからこそ様々な人のニーズに合わせた空間  
ランチ、カフェ、バルと、いろいろな用途で利用しもらえるよう朝から晩まで開いているお店。しっかりした料理からよい飲みにおつまみ料理など来てくれる人の大切な時間と体を満たしてくれるはず。自家製ケーキもおススメです。



敦賀市白銀町5-29 1F ☎0770-24-3717  
 ☎ 11:00~22:30(LO)/ランチ11:00~14:00  
 ☎ 月曜日  
 ☎ 昼1,000円~2,000円/夜2,000円~  
 ☎ 本誌持参、店内利用でひとくちソフトクリームサービス

**J 4 6 海鮮仕事人 あいろん侍**

昼は海鮮丼や蕎麦、夜は地魚料理と地酒を堪能ください。  
昼は海鮮丼や蕎麦、夜は地元の魚を使ったお刺身盛り合わせや焼き魚を中心に、おでん、馬刺しなど多様なメニュー有り。地酒、全国の銘酒も堪能できます。カウンター席、2階席、3階席あります。昼飲みもOK!



敦賀市白銀4-14 ☎0770-47-5062  
 ☎ 昼/11:00~14:30(14:00LO)  
 ☎ 夜/17:00~23:00(22:30LO)  
 ☎ 月曜日/火曜日ランチ  
 ☎ 昼1,500円~/夜4,000円~5,000円  
 ☎ 本誌持参で1グループ1ドリンクサービス

**J 4 7 地魚料理 まるさん屋**

地物の魚介類や福井の旨い地酒を楽しめる店  
敦賀駅から徒歩3分。魚問屋さん直営のお料理屋さん。新鮮な地物の魚が味わえ県内外の方にも人気のお店です。その時々の旬を堪能できる御膳をはじめ、一品料理など豊富な品数を堪能でき、それに合う地酒も多数取り揃えています。また1階では、地元のお土産等も購入して頂けます。



敦賀市白銀町6-41 2F ☎0770-22-4528  
 ☎ 11:00~22:30 ※閉店の1時間前までにご入店  
 ☎ なし ※年末年始時間等変更あり  
 ☎ <https://zabassa.co.jp/marusanya>  
 ☎ 昼1,000円~2,000円/夜3,000円~5,000円

**J 4 8 韓国居酒屋 集-もいせ-**

本場の韓国料理をお楽しみください  
敦賀駅から徒歩数分距離にある本場韓国料理を楽しめるお店。フレンドリーなオナマたちが迎えてくれるアットホームな店内で頂くメニューはどれもおいしくて癒になる味ばかり! 地元民からの人気も高く、週末は予約必須です。



敦賀市白銀町7-7 ☎0770-20-1770  
 ☎ 17:00~23:00 ☎ 火曜日  
 ☎ 3,000円~  
 ☎ 本誌持参でソフトドリンク1杯無料

**J 3 9 千束そば**

県内外すべての人に愛され続ける蕎麦屋さん  
福井県産蕎麦粉を使用し、挽きたて、打ちたて、ゆがきたてに拘った地元民から長く愛され続けるお店。ご当地メニューのソースカツ丼もあり、おろしそばとミニソースカツ丼は福井のグルメが同時に食べられるのでミニサイズでも大満足! 挽きたての蕎麦粉を店頭にて手打ちしたそばは是非ご賞味あれ。



敦賀市清水町1-20-8 ☎0770-23-1182  
 ☎ 昼11:00~15:30/夜17:00~20:00  
 ☎ 火曜日/夜水曜日  
 ☎ <https://chigusasoba.com/>  
 ☎ 750円~2,500円  
 ☎ 本誌持参でソフトドリンク1杯無料

**J 3 10 御食事処 なかや**

釣り好き大将のお店  
駅前から続くアーケードのあるメインの商店街から、少し脇道に入っすぐ、釣り好きの料理長が営むお店。自家製のオイルサーディンを使ったオニオンサラダや、骨まで食べられるアジの南蛮漬けなど、魚の旨さをしっかり味わえ、福井の食材をお手ごろな価格で食べられるお店です。



敦賀市本町1-7-14 ☎0770-22-0694  
 ☎ 昼11:00~13:30/夜17:30~21:30(LO21:15)  
 ☎ 日曜日 ※月曜日が祝日の場合、前日の日曜営業、月曜休業  
 ☎ <http://www.nakaya-web.com/>  
 ☎ 昼750円~/夜4,000円~  
 ☎ 本誌持参で大将が作った珍味1品サービス

**J 3 11 寿司 一本槍**

宴会、接待利用時にも最適な完全個室  
地物の新鮮な魚を中心とした寿司を提供しております。また、「季節の食材」を用いた一品料理や地酒も取り揃えております。



敦賀市清水町1-19-18 ☎0770-22-3711  
 ☎ 18:00~23:00(ネタ切れ終了)  
 ☎ 日曜日/不定休  
 ☎ 6,000円~15,000円  
 ☎ 本誌持参でファーストドリンク1杯サービス(生ビールorソフトドリンク)

**J 3 12 さんじゅうや**

こだわりの炭火焼き鳥のお店  
本町にある美味しい焼き鳥(居酒屋)さん! 人気のお店なので予約必須のお店! オススメの親鳥の炭火焼きはチャーハンとしてアレンジしても最高です。強面だけじゃあめつあがある楽しい大将が焼き上げる大振りな焼き鳥は食べ応え抜群! 女将さんもステキで居心地いいお店です。



敦賀市本町1丁目13-3 ☎0770-48-9045  
 ☎ 17:30~23:30  
 ☎ 月曜日  
 ☎ 4,000円~5,000円  
 ☎ 行きのタクシー代無料(領収書提示必要)

**J 3 13 御影堂前 お料理 やまとも**

旬のサカナと旨い酒、魚の旨味を最大に引き出した季節を感じる料理  
カウンター席では、調理風景を見ながら食事が楽しめる割烹スタイル。表情豊かな懐石料理を気軽に味わえます。テーブル席では記念日や接待など、さまざまなシーンに利用できる上品で落ち着いた空間。木の温かさとモダンな石壁が作り出す空間でこだわりの料理をどうぞ。



敦賀市神楽町1-1-6 ☎0770-25-8716  
 ☎ 昼11:30~13:30(LO.) / 夜17:30~21:00(LO.)  
 ☎ 水曜日 ☎ <https://yamatomo-kagura.com/>  
 ☎ 昼1,000円~/夜8,000円~  
 ☎ 本誌持参で黒ウーロン茶1杯無料

**H 4 14 中華そば 一力**

敦賀ラーメン  
屋台からスタートし、1977年に店舗を構えた、一力。週末には県内外から食べに来られる方も多く、朝から長蛇の列ができるほどの人気。味の基本は豚骨と鶏ガラベースのスープ。驚くほど豊かな風味とコクが口の中に広がります。柔らかな歯ごたえのチャーシューも自慢の味。一力の真髄を存分に...



敦賀市中央町1丁目13-21 ☎0770-22-5368  
 ☎ 昼11:00~19:00(売切れ等事情に閉店時間の切上げ有り)  
 ☎ 火曜日/不定休  
 ☎ <http://www.bitlabo.com/~ichiriki/>

**I 2 15 江戸前天井・海鮮丼 どんと屋**

どんとめしあがれ!  
毎日行列が絶えないお店。できるだけ地元で獲れた魚に拘り、新鮮な魚を賢く使った海鮮丼や天井はどれも絶品。中でもオススメは数種類の海鮮づけネタに鰻、海老天、ねぎとろ、山芋、イクラなど賑やかにちらした、どんと井は県内外の方に大人気です。是非ご賞味あれ!



敦賀市蓬萊町14-16 ☎0770-25-0205  
 ☎ 10:00~15:00(ネタ切れ終了) ☎ 水曜日  
 ☎ <https://dontoya.com/>  
 ☎ 1,500円~5,000円  
 ☎ 本誌持参で丼1杯につき1人100円割引

\*店舗情報は急速変更になる場合がございます。店舗ごとにお問い合わせをお願いします。

# おすすめ! 人気グルメ&スポット

## H 3 16 イタリアン Renato

全国的にも珍しいイタリアのソルフード「ピアディーナ」ふく小麦使用のオリジナル生地。具材を挽き、ピッツァにしたり、味わいは無限大。他にも福井の地元らしい農家さんから届く新鮮野菜や経産牛の炭火焼きなどシンプルだけど味わい深い料理はここでしか食べられません。キッチンカーでも営業していて、営業が不定期になることもあるので予約は必須です。先ずはお電話ください。

敦賀市松原町8-16 竹生マンション102号 ☎0770-47-6653  
 ◎ 昼11:30~(13:30L.O.) / 夜17:00~(21:00L.O.)  
 ◎ 月曜日/不定休  
 ◎ <https://renato-piada.com/>  
 ◎ 昼1,100円~/夜4,000円~/  
 ◎ 本誌持参でソフトドリンク1杯無料



オススメ  
生ハムのピアディーナ(S) ¥700~  
経産牛の炭焼き100g ¥2,600~

## H 3 17 steak&wine ぼたん亭

ラグジュアリーなステーキハウス  
特別な日の贅沢を味わいたいならここ、ステーキハウスぼたん亭。空いていれば予約なしでもはいるお店でオスメは地元敦賀で獲れた鮎のステーキ。ミネラル豊富な敦賀湾育ちの天然鮎を目の前でステーキに仕上げられます。他にも、若狭ぐじや若狭牛を使ったステーキコースも人気です。

敦賀市新松島町3-8 ☎0770-25-8686  
 ◎ 昼11:30~14:00/夜17:30~21:00  
 ◎ 火曜日 ◎ 昼5,000円~/夜10,000円~/  
 ◎ <http://botantei.net/>  
 ◎ 本誌持参でソフトドリンク1杯無料



オススメ  
敦賀産 地鮎のステーキ  
時価(¥10,000~)

## E 3 18 敦賀さざなみリゾート ちょうべい

敦賀の旬鮮処  
地魚の聖地といわれる敦賀湾で水揚げされた新鮮な魚介類をはじめ、地元「名子(なご)」地区のお百姓さんが愛情込めて育てた野菜やコシヒカリなど、顔の見える確かな食材を中心に厳選。地産地消にこだわった、ここでしか味わえない四季折々のごちそうをご賞味あれ。

敦賀市名子14-43-3 ☎0770-23-7818(〜20時)  
 ◎ 昼11:00~14:00(LO13:00)/  
 夜17:30~21:00(LO19:30)  
 ◎ 前日までに完全予約制  
 ◎ <http://botantei.net/>



オススメ  
炭火焼焼石  
◎ 焼前蟹 > 9,800円  
◎ 焼前蟹 > 36,000円~

## J 4 19 敦賀かわと

敦賀でお土産買うなら  
敦賀駅から徒歩1分の距離にあり県内のお土産が勢ぞろい! 福井県内各地の伝統銘菓から、若狭の名産鯖へしこや小鯛さざ漬、極上鯖缶詰等の魚加工品も数多く取り揃えており、価値ある逸品をモットーに店長自ら吟味した商品を取り扱っています。

敦賀市白銀町4-5 ☎0770-22-4102  
 ◎ 8:45~19:30 今季時間  
 ◎ 不定休  
 ◎ <https://www.kite-mite.net/>  
 ◎ 1,000円~3,000円



オススメ  
かたパン 280円  
豆腐産 1,200円

## J 3 20 地酒・本格焼酎専門店 (有)川越酒店

美味しいお酒に出会わせてくれる店  
黒龍や早瀬浦など地酒は、もちろん他県のお酒やワイン、焼酎などを店主がこだわり厳選したものを幅広く取り扱うお店です。好みにあった商品と一緒に選んでくれます。また、発送もしてくれるのでお土産用にも購入しても安心です。

敦賀市清水町1-22-10 ☎0770-22-1074  
 ◎ 8:30~19:00 (日曜日10:00~16:00)  
 ◎ 日曜日/不定休  
 ◎ <https://kawagoe.business.site/>  
 ◎ 1,000円~10,000円



オススメ  
黒龍 いっちょい ¥1320~

## E 3 21 米田牧場 みるく屋

新鮮な牛乳を使ったソフトクリーム  
牧場の新鮮な生乳を使用したソフトクリームは、濃厚な味わいがマッシュした一品です。

敦賀市木崎78-2-1(大学正門横) ☎0770-22-0624  
 ◎ 13:00~17:00/13:00~18:00(夏季限定)  
 ◎ 水曜日/不定休  
 ◎ ソフトクリーム250円~/かき氷400円~/(夏季限定)  
 ◎ 本誌持参で支払い額から50円引き



オススメ  
ソフトクリーム 250円~

## J 2 22 ソニョーポリ

歴史的建造物 敦賀赤レンガ倉庫で  
思い出に残るひと時を。  
sogno-poliは地元で採れる新鮮な魚介や野菜を使った創造性溢れるお料理を提供するイタリアンレストランです。ランチはリーズナブルに、ディナーはコース仕立てでゆったりと敦賀の食材をご堪能ください。

敦賀市金ヶ崎町4番1号 赤レンガ倉庫内 ☎0770-47-6707  
 ◎ 昼11:30~14:00/夜18:00~21:00(予約制)  
 ◎ 水曜日(赤レンガ倉庫に準ずる)  
 ◎ <http://sogno-poli.jp>  
 ◎ ランチ1,700円~/4,500円~/ディナー5,000円~/7,500(税別)  
 ◎ 本誌提示で昼デザート一品サービス/夜17時までにご予約頂いた方に料金10%OFF



オススメ  
地魚中心の刺身  
刺身盛り合わせ2名 ¥3,000~

## J 2 23 地魚料理 乃むら

敦賀湾で獲れたての魚を  
旨い酒と一緒に楽しみたい。  
魚の仲買人でもあるご主人が、毎朝市場で競り落とす旬の地魚のみを提供しています。地魚好きにはたまらないお店。旬の地魚を刺身、焼物、煮物、揚げ物等、様々な調理で堪能頂けます。是非一度、旨い魚を食べてみてください。地酒も色々揃っています。

敦賀市桜町6-27 ☎0770-25-7139  
 ◎ 17:30~21:30 (21:00L.O.) ◎ 日曜日  
 ◎ <https://ajidokoro-nomura.com/>  
 ◎ 5,000円~/7,000円  
 ◎ 本誌提示で1ドリンクサービス



オススメ  
地魚中心の刺身  
刺身盛り合わせ2名 ¥3,000~

## I 2 24 トリノセツリ

ひね鶏のシンプルで深い味わい  
10食限定の敦賀真鯛ラーメン!  
女性一人でも気軽に入れるラーメン店! 和食料理屋が姉妹店の当店は、さまざまな素材の汁を最大に引き出しラーメンが完成されていく。季節により限定ラーメンも今後登場します。詳しくはインスタをチェックしてみてください!

敦賀市相生町6-8 ☎090-5681-9035  
 ◎ 11:00~15:00 (土曜16:00) ◎ 水曜日  
 ◎ 880円~/  
 ◎ 本誌提示でミニチャーシュー丼サービス



オススメ  
鶏そば

■記号について ヨコ軸 A I タテ軸 (17p-18p地図参照)

- 食事、レストラン
- カフェ、喫茶、軽食
- お土産、ギフト
- Wi-Fi完備
- 禁煙
- 喫煙可、スペース有
- 駐車場
- クレジットカード可
- モバイル決済可

店舗情報は急遽変更になる場合がございます。店舗ごとにお問い合わせをお願いします。



敦賀駅西 TSURUGA POLT SQUARE「otta オッタ」は、広場公園を中心に「泊」「食」「知」「憩」の各施設が一体となった新コミュニティゾーン。敦賀ならではのグルメやお土産・物産品などのお店も充実しています。



## 24 中道源蔵茶舗 ちえなみき店

本とお茶の空間  
丸善雄松堂・編集工学研究所が運営する本屋「ちえなみき」ブックカフェとして日本茶を中心としたドリンクやスイーツ、軽食が楽しめます。ゆったりとした時間の中で、本とお茶の時間を過ごしてください。

敦賀市鉄輪町1丁目5-32 ☎0770-47-5133  
 ◎ 10:00~20:00 ◎ 水曜日  
 ◎ [chienamiki.jp](http://chienamiki.jp)  
 ◎ 500円~/  
 ◎ 本誌持参店舗利用で日本茶ティーパック1袋プレゼント



オススメ  
お濃茶ソフト

## 25 若狭小浜丸海 敦賀駅前店

福井土産の定番 小鯛さざ漬  
創業74年 伝統の味を守り続ける海産物を取扱っております。小鯛さざ漬をはじめ、鯖へしこ、雲丹ひしこ、若狭の魚の干物、鯖缶など丁寧に作られたこだわりの海の幸をお楽しみください。

敦賀市鉄輪町1丁目5-32 ☎0120-385-532  
 ◎ 8:00~18:00 (冬季は17:00頃まで)  
 ◎ 12月31・1月1日  
 ◎ <https://www.wakasa-marukai.co.jp>  
 ◎ 1人 2,000円~/  
 ◎ 本誌持参の方は当店商品ご購入で粗品プレゼント



## 26 かみみや 敦賀駅前店

福井のうまいものを取り揃えています。  
全国へ発送も承ります。  
福井(越前・若狭)の名産品を数多く取り扱っています。産地直送品も多くありますので、店頭やお電話でもご注文いただければ発送いたします。

敦賀市鉄輪町1丁目5-32 ☎0770-47-5290  
 ◎ 9:30~18:30  
 ◎ 水曜日  
 ◎ <https://www.rakuten.co.jp/kagamiya/>  
 ◎ 2,000円~/3,000円



オススメ  
もみわかめ 778円  
花らっきょう 345円  
羽二重餅 680円

## 27 BAKERYS+ 敦賀駅前店

国産小麦100%・無添加生地・焼きたて!  
国産小麦100%・無添加生地・焼きたてのパン屋 BAKERYS+(市野々町)の2号店が敦賀駅前に登場! 一度食べるとまた食べたくなる、そんな国産小麦の焼きたてパンを豊富に取り揃えて、ご来店お待ちしております!

敦賀市鉄輪町1丁目5-32 ☎0770-37-3140  
 ◎ 7:00~17:00  
 ◎ 水曜日  
 ◎ <https://bakerys-plus.com/>  
 ◎ 800円~/1,000円



オススメ  
ごろっとお肉の揚げたてカレーパン 260円  
パニーニ 380円

## 28 魚とごはん ますよね 敦賀駅前店

敦賀港直送の新鮮・旬な魚介類を  
堪能できるお店/夜は日本酒も  
敦賀港直送の新鮮・旬な魚介類を堪能できるお店が敦賀駅前に登場! お刺身・海鮮丼・一品料理をコシヒカリ発祥の地、福井県のおいしいお米と合わせ贅沢なひと時をお過ごしいただけます。

敦賀市鉄輪町1丁目5-25 ☎0770-37-3130  
 ◎ 11:00~21:00  
 ◎ 火曜日  
 ◎ <https://www.sakanatogohan-masuyone.com/>  
 ◎ ランチ2,000円~/ディナー2,000円~/



オススメ  
ますよね海鮮丼【福】1,980円  
敦賀ますよね名物にかまぶし 2,970円

## 29 サカナバーガー 敦賀駅前店

「魚好きを増やす!」さかな屋運営、  
フィッシュバーガーのテイクアウト専門店。  
魚屋が運営する本格フィッシュバーガーが敦賀初上陸! ご当地メニューのWカンバーガーや焼きサバサンドや、定番のWサーモンポカドバーガー、桜海老香るWぶりエビバーガーなど魚好きを増やそうプロジェクト進行中!

敦賀市鉄輪町1丁目5-25 ☎0770-37-3137  
 ◎ 10:30~19:00 ◎ 木曜日  
 ◎ ランチ・ディナー 1,300円~/1,500円  
 ◎ [https://www.instagram.com/accounts/login/?next=/sakanano\\_burger\\_tsuruga/](https://www.instagram.com/accounts/login/?next=/sakanano_burger_tsuruga/)



オススメ  
Wサーモンポカドバーガー(ドリンク・ポテトセット)1,380円  
とろり濃厚かつおのまろろバーガー(ドリンク・ポテトセット)1,480円

## 30 井屋 荘兵衛

敦賀の新鮮なお魚を日本酒・ワインで頂けるお店。  
井屋 荘兵衛は新鮮なお魚を使った海鮮丼のお店です。メインは海鮮丼ですが、一品料理もご用意。また店内も落ち着いた雰囲気の中お食事と一緒に日本酒やワインをお楽しみいただけます。季節や旬でメニューが変わっていくので、一年中楽しめるお店です。

敦賀市鉄輪町1丁目5-25 ☎0770-37-3240  
 ◎ ランチ 11:00~15:00 (14:30L.O.)  
 ディナー 17:30~21:00 (LO 20:30)  
 ◎ 月曜日(月曜祭日の場合次の平日)  
 ◎ 2,000円~/3,000円  
 ◎ ホテルにて割引チケットプレゼント



オススメ  
海宝丼~極~

## 31 otiti

みんな大好き!ソフトクリーム。  
牛のおチチたっぷりソフトクリーム! 濃厚でさっぱりした後味が病みつきに! 選りすぐりのトッピングをお選びいただいてオリジナルソフトクリームをお楽しみください。

敦賀市鉄輪町1丁目5-25 ☎11:00~18:00  
 ◎ 月曜日  
 ◎ 350円~/  
 ◎ 本誌持参の方100円引



オススメ  
季節ごとのトッピングソース

# ホテル近郊の観光スポット

敦賀市は、福井県のほぼ中央に位置し、日本海側に面した風光明媚な港町で、琵琶湖の北方向にあたります。京都からJRで1時間足らず、大阪、名古屋からは各1時間30分で行くことができます。また、2024年、北陸新幹線敦賀延伸により、北信越方面からのアクセスも良好となり、新たな観光地として注目を集めています。



## 若狭湾周辺MAP

## 敦賀・市街地MAP



### 美浜・若狭スポット

敦賀からほんの少し車で足を伸ばせば、パノラマの絶景が広がります。

ひと足伸ばして



#### 三方五湖 ● レインボーライン山頂公園

三方五湖は、それぞれの湖が水深や塩分濃度、生息生物など、違った特徴を持つ、若狭湾国定公園を代表する景勝地です。またレインボーライン途中のリフト・ケーブルカーから上った山頂公園からのパノラマビューは見事。近年、新たに5つのテラスや屋内建屋も新設され全天候型公園に。天空の足湯やカウンターテラスでゆっくりと寛ぎながら三方五湖、若狭湾の絶景をお楽しみください。



#### ● 福井県年縞博物館

年縞(ねんこう)とは、年代測定の世界標準の物差しとなる地層。三方五湖「水月湖」の底から採取された45m、7万年分の世界最長の連続した年縞を展示しています。



#### ● 国吉城跡

若狭国と越前国の「境目の城」。朝倉氏攻めに向かう信長軍勢に加わり、秀吉、家康が揃って入城し、越前攻めに向かったという、美浜町の史跡です。



#### ● 縄文ロマンパーク

三方湖の畔、縄文時代をテーマに竪穴式住居や芝生広場などが整備された公園。園内の若狭三方縄文博物館には、鳥浜貝塚の出土物など多数展示しています。



#### ● 水晶浜海水浴場

日本の海水浴場88選に選ばれた水晶浜海水浴場。砂粒が細かく、きらめく白い砂が特長。夕日は絶景で、人気のスポットとなっています。

### 敦賀市内スポット



#### ● 水島

敦賀半島の先端、エメラルドグリーン色の海に浮かぶ「水島」。松尾芭蕉も「小菖ちれますほの小貝小盃」に「衣着て小貝拾わんいろの月」と句を詠みました。



#### ● 大原山・西福寺

良如上人が開いた浄土宗鎮西派の中本山。1400坪の庭園は国の名勝として指定されています。特に新緑・紅葉はまるで極楽浄土を思わせる美しさです。



#### ● 気比の松原

気比の松原は、白砂青松の美しい名勝地で、日本三大松原のひとつに数えられています。隣接する気比の松原海水浴場は、夏には地元客で賑わいます。



#### ● 恋人の聖地「夕日のアトリエ」

北陸自動車道杉津PAにある展望台は、夕日の眺望ポイント。「恋人の聖地」として認定され、南京錠を掛けて愛を誓う「愛のハートロック」の人気スポットです。



#### ● 武田耕雲斎等墓

武田耕雲斎率いる尊皇攘夷派の水戸天狗党が、幕府に敦賀で捕えられ、処刑された。現在、水戸烈士の墓や、耕雲斎の銅像が建ち、重要文化財に指定されています。



#### ● 敦賀市立博物館

旧大和田銀行本店を活用した博物館で、国の重要文化財です。美術・工芸のほか、敦賀の歴史・文化・民族資料などが展示され、特別展なども楽しめます。



#### ● 気比神宮(けひじんぐう)

気比神宮は、伊弉沙別命(いざさわけのみこと)をはじめ合計7柱が祀られた北陸道の総鎮守。10.9mの日本三木造大鳥居は、重要文化財に指定されています。



#### ● 人道の港敦賀ムゼウム

敦賀港は、1920年代にポロランド孤児、1940年代にはユダヤ難民が上陸した日本唯一の港。当時は復元した資料館では、「命」「平和」の大切さを伝えています。



#### ● 金崎宮(かねがさきぐう)

新田義貞が足利軍と戦った古戦場。また、朝倉・浅井軍と信長・秀吉・家康の戦いの場にもなりました。恋愛成就と桜の名所で、4月には花換まつりが開催されます。



#### ● 敦賀鉄道資料館(旧敦賀駅舎)

敦賀港開港百年を記念し、欧米国際連絡列車の発着駅であった敦賀駅舎を再現。駅舎1階は、待合室、駅長室、2階は展示スペース展示となっています。



#### ● 敦賀赤レンガ倉庫

北棟は、明治・昭和初期の敦賀を再現したジオラマ館。鉄道の運転体験やライブ映像、ARなどが楽しめます。南棟は、敦賀の山海の幸が楽しめるレストランです。



#### ● 中池見湿地

広さ約2ヘクタールほどの湿地。メダカやゲンゴロウなど2000種を超える動植物が生息しており、2012年ラムサール条約湿地に登録されました。